

《平成20年1月～3月会員景況感調査報告(全国版)》

総回答数 282社 (30.8%)

1. 地域別内訳(事業の中心をおいている地域)

東日本 75社(32.1%)	神奈川県 29社(31.5%)	中部日本 61社(34.7%)	西日本 117社(28.3%)
----------------	-----------------	-----------------	-----------------

2. 売上(または取扱)商品の中で最もウエイトの高いものの内訳

日用品・雑貨類 36社	包装用容器・キャップ 39社	電気・電子・通信部品 71社
自動車・輸送機器部品 80社	住宅関連 12社	その他 38社

3. 従業員数の内訳

1～30人 90社	31～100人 115社	101～300人 53社	301人以上 16社
-----------	--------------	--------------	------------

4. 今期(平成19年10月～12月)の自社業況について(前期比%) < ()内は前回の結果です >

	前期(平成19年10月～12月)比					
生産・売上高	1. 増加	2. ほぼ横這		3. 減少		
	(34.5) 20.2	(46.4) 46.5	(19.1) 33.3			
製品単価	1. 上昇	2. ほぼ不変		3. 下落		
	(9.7) 12.1	(72.3) 69.9	(18.0) 18.1			
採算	1. 好転	2. ほぼ横這		3. 悪化		
	(11.6) 8.2	(50.9) 50.0	(37.5) 41.8			
所定外労働時間	1. 増加	2. ほぼ横這		3. 減少		
	(21.3) 17.0	(67.4) 62.4	(11.2) 20.6			
製品在庫	1. 増加	2. ほぼ不変		3. 減少		
	(15.7) 15.2	(69.3) 67.7	(15.0) 17.0			
樹脂原料単価	1. 上昇	2. ほぼ横這		3. 下落		
	(81.3) 77.7	(18.4) 20.9	(0.4) 1.1			
総合判断	1. 好転	2. ほぼ横這		3. 悪化		
	(11.6) 9.6	(49.8) 48.6	(38.6) 40.8			
来期の見通し	1. 好転	2. 横這		3. 悪化		
	(10.9) 11.3	(58.1) 50.7	(31.1) 37.2			

5. 当面の経営上の問題点(%) < ()内は前回の結果です >

1. 受注不振 (28.5) 29.4	2. 売上不振 (18.7) 28.7	3. 輸出不振 (0.4) 1.4	4. 製品単価安 (52.1) 48.2	5. 取引条件悪化 (3.7) 3.5
6. 過当競争 (17.6) 14.5	7. 輸入品との競合 (8.6) 7.4	8. 流通経費増大 (12.7) 11.0	9. 原材料高 (78.3) 78.7	10. 借入負担増 (5.2) 6.4
11. 貸し渋り (0.7) 0.4	12. 人件費高 (16.9) 20.9	13. 技能者不足 (31.8) 24.1	14. 技術力不足 (15.0) 14.5	15. マーケティング力不足 (6.7) 6.0
16. 設備過剰 (1.5) 2.1	17. 法的規制 (1.9) 1.8	18. 為替問題 (1.5) 4.6		

6. 平成20年度の昇給について

定昇以外でアップあり	定昇以外でアップなし	無効回答
24.1%	平均 2,411円	69.9%
		6.0%

7. その他の問題点・意見（5.0%）

材料の値上げ分を製品単価に上乗せ出来るよう経済産業省等から親会社に指導してもらえるように、プラ協会から働き掛けをしてもらいたい。

今の時点ではペースアップは未定のところが多い。

労働力不足、求人難。

コストダウンが強制的である。公正取引委員はどこに目を付けているのか。

原材料費の値上げを認めて頂く方策はないでしょうか？

人員不足（作業員）。

得意先に原材料高の価格転嫁ができない。

設備老朽化による更新。

H20年1月～3月は8年ぶりに株価の下落で日本経済の先の見通しが悪く、長引く可能性が大きい。明るい健康的なテーマと目標を早く国は打ち出して欲しい。

新規得意先開拓。

景気の後退と共に消費購買力が急速に落ち込んでおります。

小泉政権時代は規制を早く撤廃されたり行動が早かったが今回の福田政権は後手のため経営者として魅力がない。

親会社の海外進出と現地調達。

前年同期比マイナス。不景気感がする。

市場の変化、ルールの変更。近年急に人口の老齢化が大きく変化し、退職によるマーケットの変化と、売り上げの減少を見定める必要を感じます。

利益率の低下。

クライアントの海外進出、現地調達化による受注減少。

切りのない値下げ要求はどこもですか。

九州は中央より20%安くて当然との声をどう思いますか。

各分類ごとの業況判断(平成20年1～3月期)

1. 数字はすべて前期比で、単純平均%で表示しております

2. 傾向がわかるように、値が50%以上の場合は網掛けを行っております

		全 体	団 体 別				製 品 別						昨年同期比	
			中 部 日 本	東 日 本	神 奈 川 県	西 日 本	日 用 品 ・ 雑 貨 類	容 器 包 装 ・ キャ ップ	電 気 ・ 電 子 ・ 通 信 部 品	自 動 車	住 宅 関 連	そ の 他	中 部 日 本	(前回)
生産高 売上高	増加	20.2	31.1	12.0	24.1	18.8	13.9	17.9	14.1	26.3	25.0	26.3	29.0	36.7
	横這	46.5	47.5	48.0	51.7	43.6	50.0	48.7	42.3	48.8	25.0	52.6	43.5	40.8
	減少	33.3	21.3	40.0	24.1	37.6	36.1	33.3	43.7	25.0	50.0	21.1	27.4	22.4
製品単価	上昇	12.1	8.2	10.7	6.9	16.2	19.4	10.3	4.2	7.5	16.7	28.9	12.9	14.3
	不変	69.9	62.3	70.7	79.3	70.9	72.2	84.6	63.4	67.5	83.3	65.8	40.3	55.1
	下降	18.1	29.5	18.7	13.8	12.8	8.3	5.1	32.4	25.0	0.0	5.3	46.8	30.6
採 算	好転	8.2	4.9	5.3	10.3	11.1	5.6	12.8	1.4	7.5	8.3	18.4	16.1	20.4
	横這	50.0	63.9	46.7	44.8	46.2	50.0	43.6	39.4	61.3	33.3	57.9	41.9	38.8
	悪化	41.8	31.1	48.0	44.8	42.7	44.4	43.6	59.2	31.3	58.3	23.7	41.9	40.8
所定外 労働時間	増加	17.0	11.5	17.3	20.7	18.8	16.7	10.3	16.9	13.8	41.7	23.7	12.9	22.4
	横這	62.4	68.9	61.3	51.7	62.4	61.1	71.8	62.0	71.3	41.7	47.4	67.7	55.1
	減少	20.6	19.7	21.3	27.6	18.8	22.2	17.9	21.1	15.0	16.7	28.9	19.4	22.4
製品在庫	増加	15.2	11.5	16.0	24.1	14.5	11.1	5.1	18.3	16.3	16.7	15.8	12.9	8.2
	横這	67.7	72.1	64.0	58.6	70.1	72.2	79.5	59.2	70.0	58.3	71.1	69.4	73.5
	減少	17.0	16.4	20.0	17.2	15.4	16.7	15.4	22.5	13.8	25.0	13.2	17.7	18.4
材 料 調達単価	上昇	77.7	73.8	74.7	82.8	80.3	75.0	79.5	83.1	76.3	83.3	71.1	85.5	85.7
	横這	20.9	26.2	22.7	13.8	18.8	22.2	20.5	15.5	22.5	16.7	26.3	12.9	14.3
	下落	1.1	0.0	2.7	3.4	0.0	2.8	0.0	1.4	1.3	0.0	0.0	1.6	0.0
総合判断	好転	9.6	9.8	6.7	13.8	10.3	8.3	10.3	2.8	11.3	16.7	15.8	17.7	24.5
	横這	48.6	60.7	42.7	51.7	45.3	38.9	43.6	49.3	51.3	33.3	60.5	41.9	40.8
	悪化	40.8	29.5	50.7	34.5	41.9	52.8	46.2	47.9	36.3	41.7	23.7	40.3	34.7
来期の 見通し	好転	11.3	11.5	9.3	10.3	12.8	13.9	17.9	5.6	13.8	8.3	5.3	12.9	10.2
	横這	50.7	57.4	53.3	51.7	45.3	47.2	48.7	47.9	53.8	50.0	63.2	54.8	55.1
	悪化	37.2	31.1	37.3	37.9	40.2	38.9	30.8	46.5	32.5	41.7	28.9	32.3	34.7

各分類ごとの経営上の問題点(平成20年1～3月期)

1. 数字はすべて前期比で、単純平均%で表示しております

2. 傾向がわかるように、値が50%以上の場合は網掛けを行っております

	全 体	製 品 別					
		日用品・ 雑貨類	容器包装・ キャップ	電気・電子・ 通信部品	自動車	住宅関連	その他
受注不振	29.4	33.3	17.9	40.8	23.8	25.0	28.9
売上不振	28.7	36.1	28.2	39.4	13.8	25.0	31.6
輸出不振	1.4	2.8	0.0	1.4	1.3	0.0	2.6
製品・請負単価安	48.2	52.8	59.0	52.1	52.5	25.0	26.3
取引条件悪化	3.5	5.6	7.7	4.2	1.3	0.0	2.6
過当競争	14.5	27.8	7.7	15.5	10.0	33.3	13.2
輸入品との競合	7.4	13.9	5.1	8.5	3.8	16.7	7.9
流通経費増大	11.0	11.1	10.3	7.0	18.8	0.0	5.3
原材料高	78.7	91.7	89.7	76.1	70.0	100.0	76.3
借入負担増	6.4	13.9	2.6	7.0	5.0	8.3	5.3
貸し渋り	0.4	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0
人件費高	20.9	11.1	7.7	22.5	30.0	16.7	18.4
技能者不足	24.1	16.7	25.6	21.1	32.5	16.7	23.7
技術力不足	14.5	5.6	20.5	9.9	18.8	25.0	13.2
マーケティング力不足	6.0	8.3	5.1	4.2	2.5	16.7	7.9
設備過剰	2.1	5.6	0.0	1.4	1.3	0.0	5.3
法的規制	1.8	5.6	0.0	1.4	2.5	0.0	0.0
為替問題	4.6	2.8	2.6	8.5	3.8	8.3	2.6